



後期学校評価まとめ

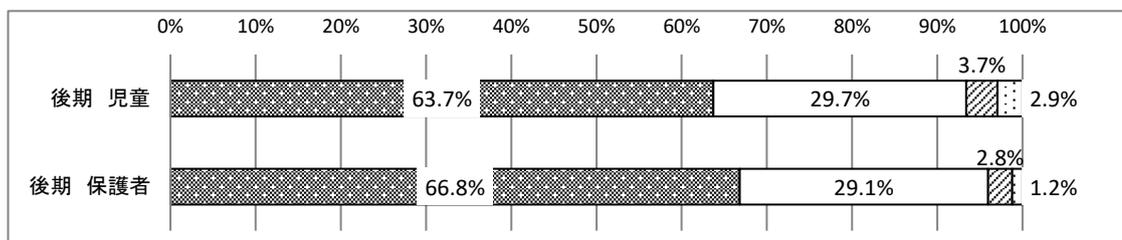
12月には、本校の教育活動の振り返りのためのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。以下のとおり結果をまとめましたのでお知らせいたします。

天間小学校グランドデザインに掲載されている「学校評価重点項目」を取り上げてまとめてあります。「目標及び現状」の割合は、「はい」と「どちらかといえば、はい」を合わせた割合になっています。また、「現状」は、児童・保護者の「はい」「どちらかといえばはい」を合わせた割合です。



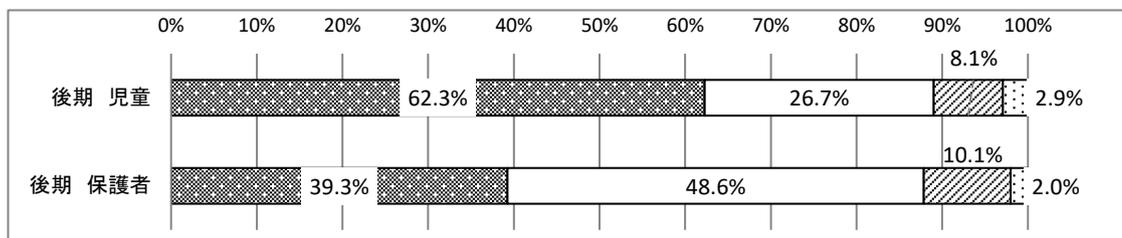
【人を大切にする力】

○学校が楽しい



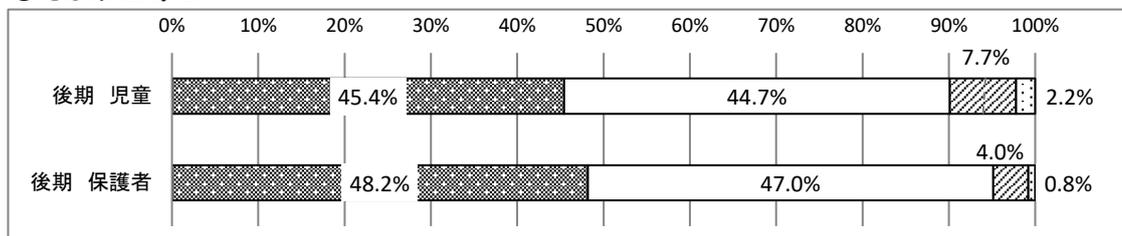
目標:95%
現状:93%
-2ポイント
前期より4ポイント増

○進んであいさつ、ありがとうが言える



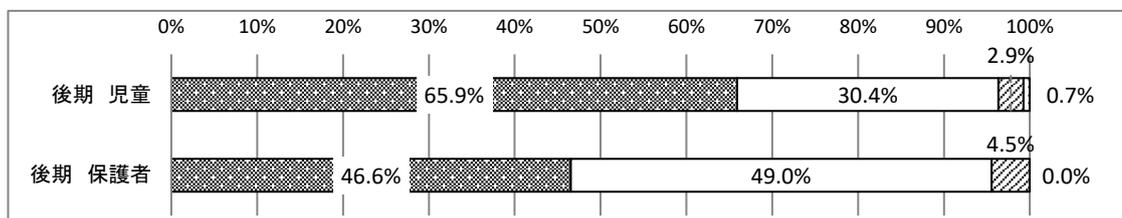
目標:95%
現状:89%
-6ポイント
前期より5ポイント減

○きまりを守る



目標:90%
現状:90%
前期より2ポイント減

○人を大切にする



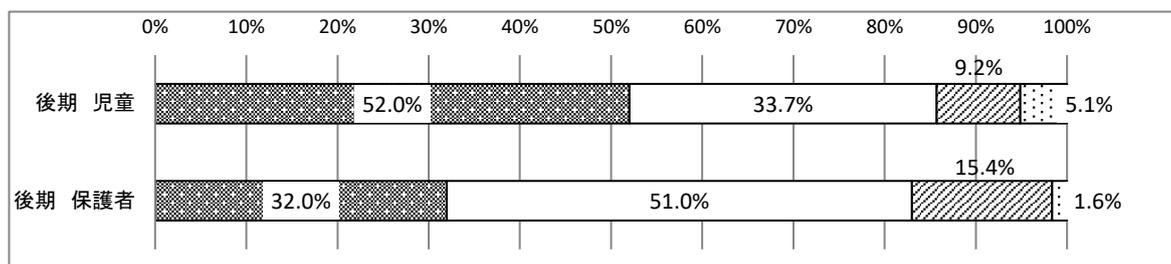
目標:95%
現状:96%
+1ポイント
前期と同じ

「学校が楽しい」では、前期より数値が向上し、多くの児童が学校生活を前向きに捉えていることが分かりました。行事や日常の学習を通して、友達と関わり合う経験が積み重なってきている成果と受け止めています。一方で、目標値には届いておらず、学級や個人によって感じ方に差があることも課題として捉えています。今後は、学級経営の充実や丁寧な声掛けを通して、すべての子どもが安心して過ごせる学校づくりをさらに進めていきます。

「あいさつ、ありがとう」が言えるについては、前期より数値が下がる結果となりました。あいさつは、人と人をつなぐ大切な力であり、継続した取組が必要であると考えています。学校ではあいさつ運動や日常的な声掛けを行っていますが、場や相手によって差が見られることが課題となっています。鷹岡中学区3校での取組とも連携しながら、あいさつの意味を子どもたち自身が考える機会を設けるとともに、家庭、地域とも協力して気持ちのよいあいさつが自然にできる子どもを育てていきたいと考えています。

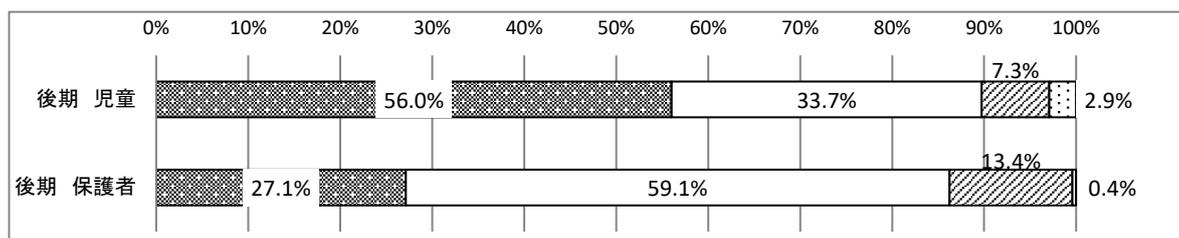
【関わり合って学ぶ力】

○自ら学ぼうとしている



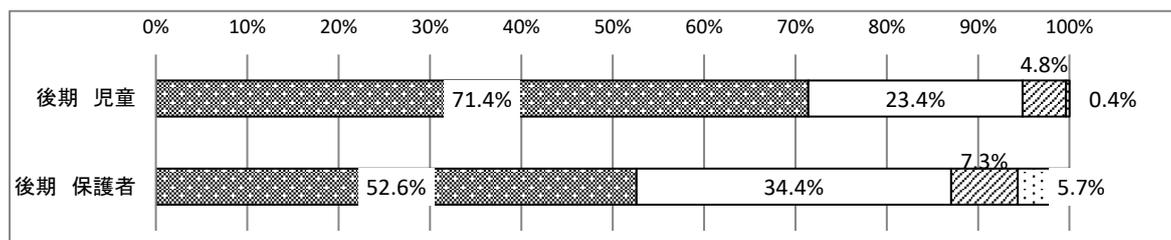
目標:90%
現状:85%
-5ポイント
前期より7ポイント減

○授業が分かる



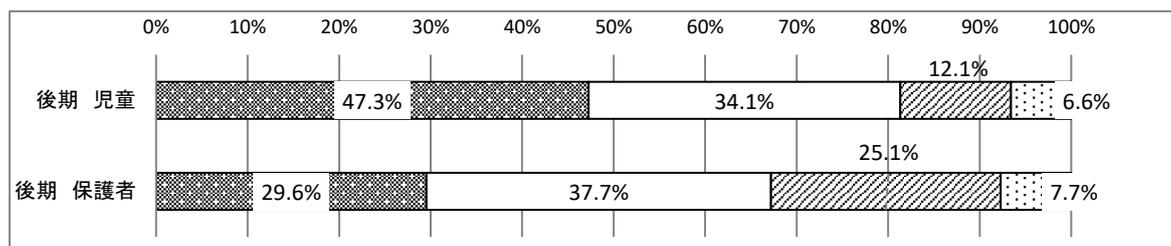
目標:90%
現状:89%
-1ポイント
前期より3ポイント減

○ICT 機器を利活用



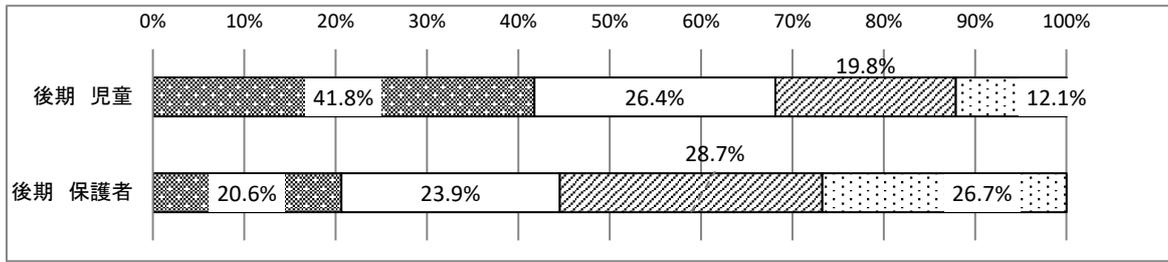
目標:95%
現状:94%
-1ポイント
前期より1ポイント増

○進んで家庭学習



目標:85%
現状:81%
-4ポイント
前期より4ポイント減

○進んで読書

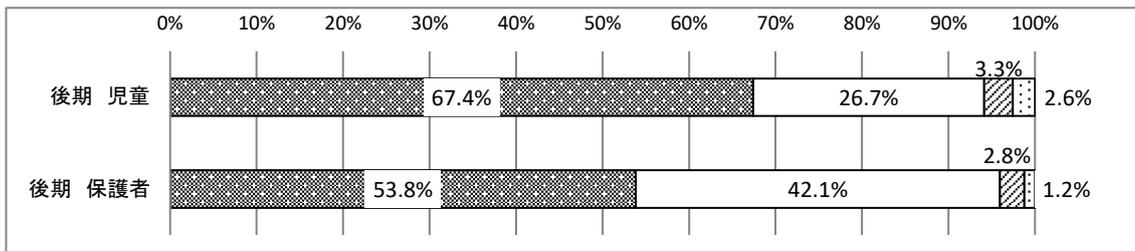


目標:75%
 現状:68%
 -7ポイント
 前期より6ポイント減

「自ら学ぼうとしている」「授業が分かる」では、一定の成果が見られるものの、前期と比べると数値が下がる結果となりました。学習内容が難しくなる中で、理解や意欲に個人差が表れやすくなっていることが背景にあると考えています。今後は、ICT 機器の効果的な活用や、対話を取り入れた授業づくりを通して、子ども一人一人が学ぶ喜びを実感できるよう改善を進めていきます。また、「進んで家庭学習」「進んで読書」については、引き続き課題が見られました。学校では、朝読書や自主学習の工夫、GIGA タブレットを活用した取組を進めています。学習習慣の定着には、学校と家庭の連携が欠かせません。今後も、ご家庭での温かい声掛けや励ましをお願いしながら、子どもたちの学びを支えていきたいと思います。

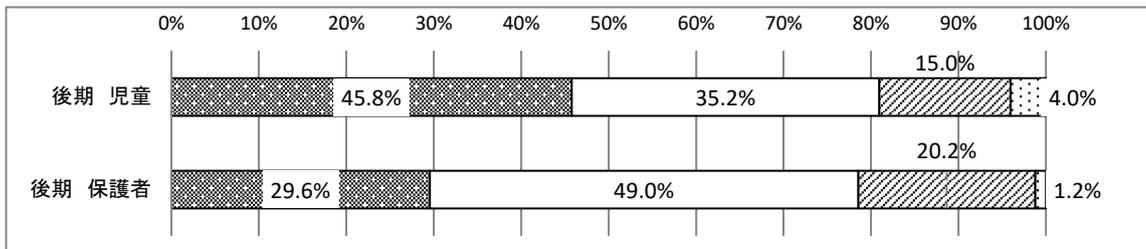
【トライ・リトライする力】

○安心・安全な学校



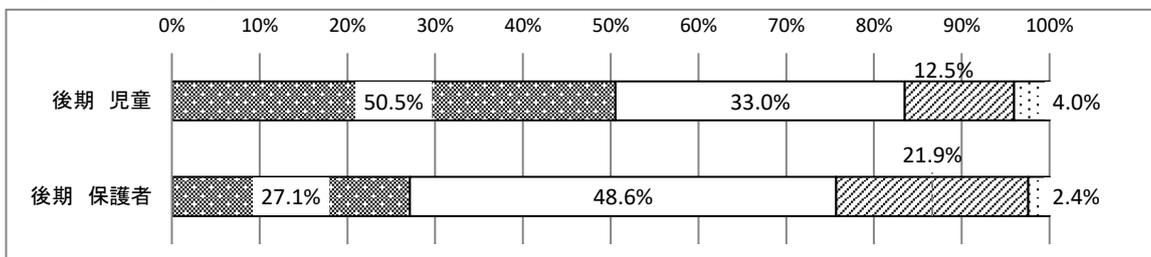
目標:95%
 現状:94%
 -1ポイント
 前期より1ポイント増

○自分から挑戦(やってみようを意識した活動)



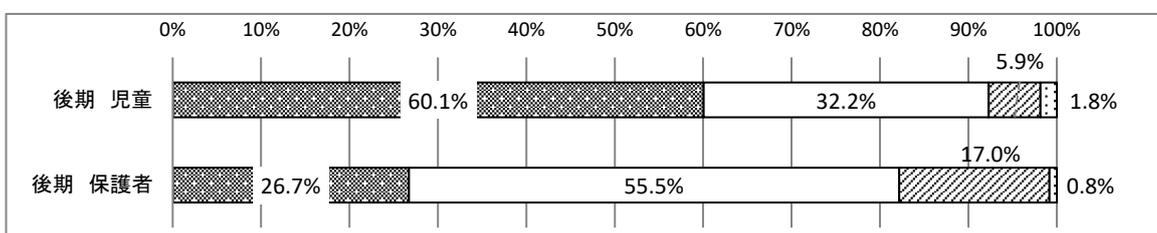
目標:85%
 現状:81%
 -4ポイント
 前期より6ポイント減

○健康・安全教育(生活リズム)



目標:90%
 現状:83%
 -7ポイント
 前期より4ポイント減

○健康・安全教育(緊急時に自分の命を守る)



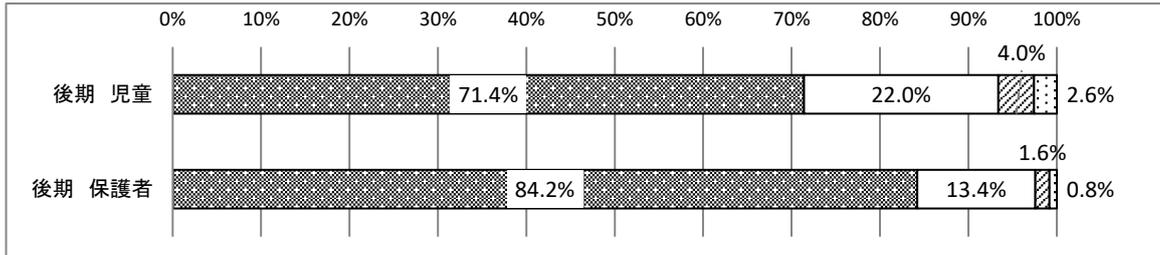
目標:90%
 現状:92%
 +2ポイント
 前期より5ポイント減

「安心・安全な学校」については、前期よりポイントが上昇し、多くの児童が安心して学校生活を送れていると感じていることが分かりました。しかし、目標値にはわずかに届いておらず、個々の不安や困り感をより丁寧に把握していく必要があります。今後も、教育相談や日常の観察を通して、早期対応・未然防止に努めていきます。

「自分から挑戦する」「生活リズム」については、前期より数値が下がり、改善の必要性が明らかになりました。今後は、失敗を恐れず挑戦できる雰囲気づくりや、子ども自身が考え行動する場を意図的に設定するとともに、生活習慣の大切さについて家庭と連携した指導を進めていきます。

【コミュニティスクールに関する質問】

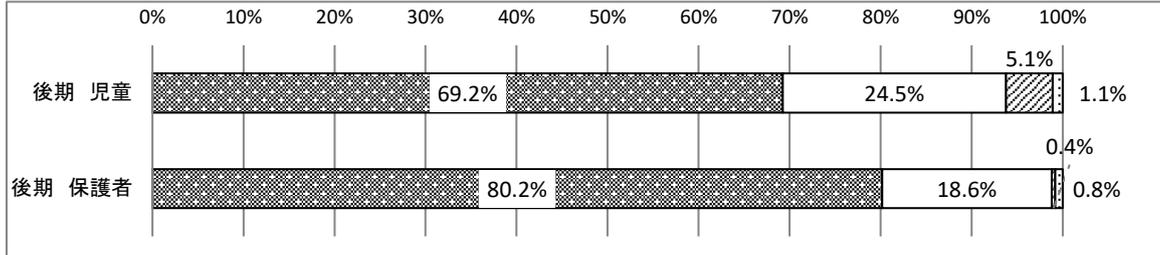
○地域の皆様や団体が授業や行事のお手伝い等、様々な活動を行っていることを知っている



児童
現状: 93%
前期と同じ

保護者
現状: 97%
前期より1ポイント減

○地域の皆様が協力して下さることは学校や子どもたちにより効果が表れている



児童
現状: 93%
前期と同じ

保護者
現状: 98%
前期より1ポイント増

後期も、地域や保護者の皆様に多くの教育活動を支援いただきました。体験的な学習やボランティア活動を通して、子どもたちは多様な人と関わりながら学びを深めることができています。アンケート結果からも、地域の協力が学校教育に良い影響を与えていることが分かりました。一方で、活動の意義や成果が十分に伝わりきっていない部分もあると考えています。今後は、取組のねらいや子どもたちの成長の様子を、より分かりやすく発信し、学校・家庭・地域が同じ方向を向いて子どもを育てていけるよう改善していきます。

保護者・地域の皆様や各団体には、この1年間、様々な学校の教育活動に関わっていただきました。中でも、地域とPTA 環境体育部が中心となって行ったお米作りやもちつき体験、チリンの会主催の大型紙芝居「わくわくメルヘン」、ミシンボランティア、九九道場、ひらがな教室など数多くの教育活動に携わっていただき本当にありがたく感じています。

今後も学校、家庭、地域がより良い関係を築き、子どもたちのために知恵を出し合い、協力し合っていきたいと思えます。いただいた意見を参考にしながら、来年度の学校生活やコミュニティスクール活動を考えてまいります。